60 号

なでしこ通信

平成 28 年度　新春号

新春のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

昨年から、我が国の社会的養護に関する枠組みが大きく変わろうとしています。

そんな新しい時代の流れを感じつつ、市に協力をして、情報発信型の「講演会・シンポジウム」の開催や相談支援体制の強化など、新たな取組みをはじめました。

今年は、いよいよ改正児童福祉法が本格稼働しますが、そこは酉の年、アンテナを高くして、色々なことが酉込(とりこ)めるよう頑張っていきます。

今年もよろしくお願いします。　　里親家庭支援センター職員等一同

明けましておめでとうございます。

新しい年を可愛い子どもさんたちと笑顔で迎えたことでしょう。又は、心を引き締めて新しい年に向かった方々もいらっしゃるでしょう。

相談員として家庭訪問させて頂くと、どのご家庭も様々な心配事を抱えたり、嬉しい出来事など色々とお話しして下さいます。泣いたり怒ったり笑ったりする日々の積み重ねこそ家族の絆を強めるに違いありません。

いずれのご家庭も穏やかで明るい年になりますように願っています。

里親相談員一同

H28 年度　新しい里親さん紹介

養育里親登録年月日　平成 28 年 11 月 16 日
□葵区　ご夫妻

養育里親登録年月日　平成 28 年 11 月 16 日
□葵区　ご夫妻

受賞おめでとうございます

第 61 回全国里親大会茨城大会
全国里親会会長表彰者　　駿河区　里親　ご夫妻

第 62 回関東甲信越静里親研究協議会茨城大会
関東甲信越静里親研究協議会会長表彰者　　葵区　里親　ご夫妻

児童相談所からのお知らせ

委託児童に支給される児童手当の管理について

児童手当は、中学終了前の児童を委託されている里親さんに原則、支給されます。この金銭は、「里親が行う養育に関する最低基準」第 9 条の 2 に規定する「給付金」に該当するため、次に掲げるところにより、里親さんが管理して下さい。

① その他の財産と区分できるよう、原則として、児童名義の児童手当専用の口座を開設して管理すること。

② 措置費で支払うべき費用の経費として使うことはできません。措置費で支払う費用以外の経費に使用する場合には、収支状況を必ず記録すること。

③ 児童が委託解除になったときには、速やかに該当児童に管理している児童手当を引き渡すこと。

⇒ 児童が委託されている里親さんには、「児童手当の管理」について、来年 1 月以降に、児童相談所から改めて、通知します。

スキルアップ研修開催しました

平成28年度　第13・14回スキルアップ研修

子どもの問題行動への理解

幼少期

平成28年11月22日（火）
児童相談所 第3相談室　参加者5名

思春期

平成28年11月29日（火）
児童相談所 多目的室　参加者10名

講師に静岡市児童相談所　望月心理司（幼少期）出川心理司（思春期）をお迎えし、それぞれの年齢での表れや対応など具体的に教えていただきました。
良い行動を増やして悪い行動を減らす方法や、ムカつく子どもの理解（アンガーマネジメント）、自然な性教育の進め方など…。今日からすぐやってみよう！これから使えそう！と思わせる内容でした。

幼少期

参加者の感想より

- 発達のメカニズムがわかりやすかった
- お話が分かりやすかった
- 子どもの年齢による発達、対応の仕方がよくわかった
- 大人が問題行動と思っていることは「困らようとしてやっているのではない」と大人が理解してあげることが大事
  ・忘れていたことを思い出すことができました

幼少期　研修風景

思春期

参加者の感想より

・思春期に見られる行動や言動　大人がどんな心構えでいたらよいのか知ることができてよかったです。
・毎日むかつく事は多いですが、順調に大人に近づいているんだなという事を再認識できました。
・講師の穏やかな口調で心に入ってきました。

思春期　研修風景

平成２８年度　里親月間記念講演会

日　時　：平成28年10月８日（土）13：00～15：30
会　場　：静岡県総合社会福祉会館シズウェル　７０３会議

演 題 「子どもと家庭の社会的課題を解決する」 ―里親のこれから―

講 師　藤井 康弘 氏(元厚生労働省障害福祉部長)

【プロフィール】

厚生労働省で障害者や母子に関する政策形成に長年担当し、社会・援護局障害保健福祉部長を最後に、今年６月に退官された。2007 年４月に東京都に里親登録し、これまでに 10 人余りの子どもたちを養育し、現在２人の子どもを受託中という珍しい経歴の持ち主。そのため、講演では、日本の社会的養護の改革に直接携わってきた行政のエキスパートならではの深い知見と豊富な里親体験に裏付けられ、具体的で説得力のある内容だった。

１．我が国の社会的養護の概況

日本における社会的養護が施設養護から家庭養護へ移行するに至った背景、その理由と推進の状況や里親養護推進の施策等に続き、今年５月 27 日に成立した「改正児童福祉法」の理念に盛り込まれた「家庭と同様の環境における養育（養子縁組や里親等による養育）の推進」についての説明があった。

２．家庭養護推進の必要性

里親家庭に委託される子どもには、①赤ちゃん返り、②試し行動、③周囲をコントロールしようとする、④何事にも過度に慎重、⑤周囲に愛嬌を振り撒く、⑥泣かない子、⑦人の目を見ない、目を見られるのを嫌がる、⑧身体が同年齢の子どもに比して小さい等の特徴がみられる。

これらは、発達障害や知的障害とは違い、家庭での不適切な養育に起因するもので、アタッチメント問題や発達遅滞が相互に絡み合って、子どもの成長に影響を与えているが、家庭養護により子どもが変わる可能性がある。

１）アタッチメント問題

○　誰かに大事にされている実感がないために、自己肯定感が低く、振る舞いが分からず、何事にも自信が持てない。

○　大人を信頼できないため、基本的な生活習慣が身につかず、その場を切り抜けようと、空気を吸うように嘘をつく。

○　集中することができず、気が散る。

２）発達遅滞

○　年齢なりのしかるべき量と多様性のある刺激を受けていないため、コミュニケーションスキルや生きていくうえでの知識が得られていない。

○　子どものコミュニケーション不足によって、① 乱暴を働く（暴力の問題）、②自分の意向と反対のことを言っては里親を困らせる、③叱られても、すぐに気持ちが切り替わる、④自分の欲求がいえず、ストレスが溜まり、問題行動に走る。

○　知的障害に該当しないものの、学力が低い。特に就学以降、自己肯定感の低さに拍　車がかかる。小学校に行くとより顕在化するが、それは保育園・幼稚園と違い、他の子どもと比較されるため。

→　愛着関係や発達遅滞に起因し、問題行動を起こすので、多くの子どもが育てにくいが、できるだけ早い段階から２４時間切れ目ない養育を提供することで、間違いなくアタッチメントの修復に繋がる。

→　子どもには可塑性があり、大人との間に一定の信頼関係は築けるようになる。発達遅滞も固定化されているわけではなく、子どもと密に関わり、個別に対応することで、キャッチアップできることは随分ある。

３．家庭養護推進に向けた課題

特に、「里親に関する課題」として、①ターゲットを絞った広報戦略を立てること、②家庭モデルが専業主婦家庭から共働き家庭へと移行する中での里親リクルートのあり方、③里親の「職業化」の議論の進め方、④育てにくい子どもの増加に伴い、養育力向上のための研修の必要性、⑤チームとしての養育の必要性などが挙げられた。

講師は、国のトップにまで昇り詰めた行政マンとは思えないような人間性溢れる表情で話され、最後に、養育している子どもの成長に涙を浮かべながら、里親は大変だが、課題を克服していくことで、多くの感動があり、人生が素晴らしいものになるなど大きな見返りがあると力説されたことが非常に印象的だった。

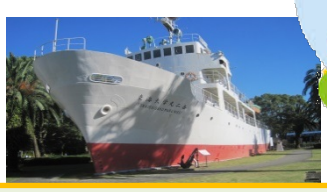
第 62 回関東甲信越静里親研究協議会・第 61 回全国里親大会茨城大会

日　時　　H28 年 11 月 12 日（土）～13 日（日）　　参加者　　２６人

開催地の水戸までのバス移動はお世話いただいた方々に感謝です。お陰様で子どもも大人もゆっくりお喋りできて大満足。夕飯のバイキング・ユースホステル・偕楽園の散歩もよかったです。帰りのバスの感想会も素晴らしかった。私の願いは、里子の実家になって、時々帰って来て欲しい事と里子を悲しませたくない人になる事です。これからも勉強し、まだまだ子育て半ばを刻み付け、また頑張ろうと思いました。開催内容については、全国と関ブロが合同になったことで、単独開催よりも倍の充実したものになると思っていましたが、少し期待外れでがっかりしました。2 年後は、静岡大会ということで開催に向けた検討会が始まっているようですが、是非成功させたいですね。その為に、来年の埼玉大会には、みんな参加して静岡大会に備えたいですね。　　（Ｓ里親）

1日体験里親会

みかん狩り＆東海大学海洋科学博物館



平成28年１１月３日（金・祝）

毎年恒例のみかん狩りに行ってきました。今年は、ミカン狩りの後、東海大学海洋科学博物館まで足を延ばし、楽しい１日を過ごしました。

気持ちの良い秋晴れの下、<里親一日体験 みかん狩り>が実施されました。

今年度は９組１７名が体験里親として参加してくださり、当日は静岡ホームの子ども達とペアを組み一日を過ごしました。またモデル里親として６組の里親ファミリーにご参加いただきました。

児相多目的室での開会セレモニーの中、ドキドキの初対面。子どももおとなも緊張していました。子どもたちはそれぞれのペアさんによばれると、元気いっぱい駆け寄る子、恥ずかしそうに下を向いてしまっている子と様々な反応がみられましたが、いざ鈴木農園さんに到着するとすっかり打ち解け、みかんを手でひとつとっては、口いっぱいに頬張る姿がとても可愛らしかったです。

みかん狩りの後は、東海大学海洋科学博物館に場所を移し、博物館からの計らいで、館内の案内もしていただきました。その後、ピクニック広場でお弁当を食べ、海洋博物館内で自由行動に…。珍しい魚に見入る子、お気に入りの水槽の前から離れない子、久しぶりの水族館に、大人も童心に帰って楽しめました。お別れの時には、お互いに名残惜しく涙がでてしまう場面もありましたが、子ども達には今日一日を楽しい経験として、体験里親さんには、今後につながる一日となったようです。

ご尽力いただいた皆様のおかげで、無事に楽しく終えることが出来ました。ありがとうございました。

静岡西ロータリークラブの梅ヶ島植樹とバーベキュー大会　参加者　25人

10月30日（日）静岡西ロータリークラブ主催の梅ヶ島植樹とバーベキュー大会に参加しました。当日は雨上がりで肌寒く霧がでている中、みんなで苗木に願いを込めたメッセージプレートを付け、植付けました。バスで、金山温泉に移動して、美味しいバーベキュー、餅つき、温泉、公園あそびを満喫し、子ども達も大喜びで楽しい１日を過ごすことができました。　（M里親）

里親・ちびっこ合同サロン

クリスマス会

平成 28 年 12 年 10 日（土）9：30～
静岡市児童相談所　多目的室
参加者　　90 人

みんなが待ちに待ったクリスマス会。子どもたちもワクワク。
手遊び・人形劇・絵本、バルーンアート
芸達者のお母さんたちが繰り広げる楽しい出し物にくぎづけ。
特にピエロのマジックが最高と大盛り上がりでした。
その後は・・・　かわいい？天使の軽快リズムのＰＰＡＰを大合唱　♪
最後は、お待ちかねのサンタクロースが登場♪トナカイと天使を引連れみんなにプレゼントをくださいました。サンタさんの英語の挨拶に子ども達は目がまん丸。トナカイさんもお疲れ様でした。　笑顔・笑顔の楽しい会で大人も子ども大満足でした。

＜参加者の声＞

クリスマス☆大人だけの時は味気なく過ごしていましたが、里子のプレゼントを用意したり、24 日の夜にサンタクロースになって枕元にプレゼントを置いたりとドキドキ・ハラハラ。子どもがいて初めて感じることが出来る気持ちです。T 君がお家に来てくれたことに感謝しています。（F 里親）

子ども達の成長が
見れて嬉しい
ｓ里親

楽しかった
Hちゃん

サンタさんが来て
くれて嬉しかった。
ありがとう。
Ｓくん

プレゼントが
嬉しかった
Ａちゃん

サンタ・ピエロ
最高　Ｔくん

子供同士が仲良しで
嬉しい　Ｍ里親

活動報告(11～12月)

11月 3日（木）　1日里親体験　みかん狩り・三保海洋博物館
参加者　61人

11月 4日（金）　ちびっこサロン　静岡市安倍ごころにて
参加者　7人

11月 9日（水）　相談員「傾聴」研修　静岡市児童相談所にて
アクティブリスニング静岡

11月11日（金）　里親更新研修会　中部児童相談所にて
参加者　4人

11月12日（土）～13日（日）　第61回全国里親大会茨城大会　水戸市にて
第 62回関東甲信越静研究協議会
参加者　26人

11月16日（水）　葵区サロン　葵区にて
参加者　14人

11月21日（月）　出前講座　英和大学にて
「施設・養育体験発表」　駿河区里親　静岡ホーム職員
参加者　70人

11月22 日（火）　第13回スキルアップ研修　静岡市児童相談所にて　「子どもの問題行動への理解　幼少期」
講師　静岡市児童相談所　望月児童心理司
参加者　5人

11月29 日（火）　第14回スキルアップ研修　静岡市児童相談所にて　「子どもの問題行動への理解　思春期」
講師　静岡市児童相談所　出川児童心理司
参加者　9　人

12月10日（土）　合同サロン　クリスマス会　静岡市児童相談所にて
参加者　90人

12月 14日（水）　出前講座　常葉短期大学にて
「養育体験発表」　駿河区里親
参加者　220人

12月15日（木）　第18回スキルアップ研修　少年の家にて
「里親体験発表会」
参加者　17人

12月29日（木）～1月3日（火）　静岡市里親家庭支援センター　休業日

＜　1月予定　＞

1月20日（金）　静岡ホーム懇談会　（申込み受付中）
1月22日（日）　新春もちつき大会　（申込み受付中）

ライオンズクラブ主催・静岡市後援

「子どもの貧困についてリレー講演会」に参加して

２０１６年１０月１６日（日）に静岡グランシップで、子どもの貧困をテーマに、静岡学習支援ネットワークや静岡市子ども食堂ネットワークなどの代表と、リレー講演した静岡市里親会の眞保会長から感想をいただきました。

「市内の子どもと家庭支援に携わる方々と一緒になって、里親の活動をご紹介してきました。主催のライオンズクラブのメンバーや一般の参加者など、多くの方々に里親制度や子どもの貧困と草の根支援の現状について知っていただく良い機会となりました。さっそく、各団体の活動はライオンズクラブにご理解をいただき、支援金を頂戴いたしました。これからも多くの方に里親制度を知っていただき、子どもの応援団の輪が広がっていってくれればと思っています。」

編集後記

旧年中は、当センターの活動が脚光を浴び、マスコミの取材、地方自治体等からの視察や研修会での発表等に追われていましたが、全国で里親委託を積極的に推進しようと頑張っている多くの方々とも知り合える貴重な機会ともなり、感謝、感謝です。

また、里親相談援助では、情緒面や行動面で問題を抱えた子どもの養育に奮闘する里親家庭への支援を通して、色々なことに気づかされ、学ぶことができました。里親も子どもとの真剣な関わりの中で、成長していくといわれていますが、里親支援に関わる職員も全く同じだなーと実感しています。

さあ、今年はどんな出会いや関わりがあるか、今からワクワクしています。　　（ 望月 ）

NPO法人 **静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947 静岡市堤町914番地の417(静岡市児童相談所内)
TEL. 275－2252・FAX. **255－2052**
担当者　望月　根生　髙山
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp